

成果検証報告書

【成果指標の達成状況】

成果検証実施年度 令和3年度

市町村名	朝霞市					
提案事業名	東京2020オリンピック・パラリンピック射撃会場 機運醸成事業					
事業期間	令和2年度		～	令和2年度		
成果指標	(成果を検証する指標) 朝霞市おもてなしボランティアの参加者数					
	(成果検証の具体的な方法) 大会期間中のおもてなしイベントや暑さ対策の活動をする、市独自の朝霞市おもてなしボランティアの参加者数をカウントする。					
	(成果の目標値に対する実績)			達成度	A	
	従前値 (R2年 1月現在)	募集定員 200人程度	目標値 (R3年 3月時点)	200人	実績値 (R3年 3月時点)	385人
	(施設建設等の場合の実績)					
	案内板アクセス数(人)	(目標)	240	稼働率 (%)	(目標)	(実績)
住民への公表状況 及び特記事項		市ホームページでの公表				

【事業効果の整理・原因分析】

令和2年度 構成事業

構成事業名	事業効果	事業効果の概要及び原因分析
① 射撃会場の機運醸成事業	○	<ul style="list-style-type: none"> 大会への機運醸成を図るため市にゆかりのあるアスリート等と市長との対談や自衛隊体育学校の選手のインタビュー動画の配信を行った。 朝霞市おもてなしボランティアに応募があった方に「研修動画」を市で作成し配信を行った。また、朝霞市オリンピック・パラリンピック支援実行委員会等を開催し、感染症対策を踏まえ、改めておもてなしの検討を進めることのできることを了承を得ることができた。

【成果検証の総括・改善策の検討】

実施事業について 十分に成果が認められた点	新型コロナウイルス感染症が拡大する中、大会への機運醸成を図るため市にゆかりのあるアスリート等と市長との対談や自衛隊体育学校の選手のインタビュー動画の配信や朝霞市おもてなしボランティアに応募があった方に「研修動画」を市で作成し配信し大会への機運醸成を行った。また、朝霞市オリンピック・パラリンピック支援実行委員会等を開催し、感染症対策を踏まえ、改めておもてなしの検討を進めることのできることを了承を得ることができた。
実施事業について 成果が不十分である点	成果指標とした朝霞市おもてなしボランティアの参加者数は、目標値の200名を大きく超える385人という実績となった。これは、市民の会場市としての大会への関心の高さや、これまでの機運醸成事業による成果によるものと考えられる。大会期間中に多くの市民がボランティアとして安心・安全に参加できるよう、引き続き、新型コロナウイルス感染症への対策を講じながら取り組んでいく。
成果検証を踏まえた 今後の改善策	東京2020大会が新型コロナウイルス感染症拡大の影響で1年延期となる中、大会関連事業の推進に当たって、感染症対策を市と市内関係団体で構成する朝霞市オリンピック・パラリンピック支援実行委員会を中心に、官民一体となって検討し、安心・安全な大会運営を行っていく。また、感染症対策を講じながら、多くの市民がおもてなしイベントやおもてなしボランティアに参加し、市全体で東京2020大会を盛り上げていく。